果樹特報

No.10

平成 30 年 8 月 3 日
ＪＡ中野市営農センター
ＪＡ中野市りんご・もも部会

7 月中下旬の異常高温でハダニ類・シンクイムシ類が断続発生中です。特に８月はシンクイムシ類の実害が急増します。ついては、**薬液が園全体に到達するように散布量は『いつもよりかなり多め』に設定してください。**

連続強日照により重度（腐敗性）の日焼け果が全域で多発しています。しばらく強日照状態が続く見込みです。**日焼け防止のため過度な夏季管理は控えてください。**また、ふじの着果過多が散見されます。小玉果・変形果除去を中心とした修正摘果は収獲まで随時実施してください。

りんご　８月上旬の『シンクイムシ類対策』特別散布（前回より７日後）

◆ 散布日：８月　　日
◆ 散布量：　　リットル

散布時期：８月８日～12 日　＊お盆前散布

散布薬剤：　水　100 リットル

展着剤　10ml　＊注意事項③参照

劇バリアード顆粒水和剤　50g（前日、３回）＊注意事項①、②参照

散　布　量：10a 当り　600 リットル

対象病害虫：**シンクイムシ類、カメムシ類**、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ

～　注意事項　～

① バリアード顆粒水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。

② バリアード顆粒水和剤に代えて、劇モスピラン顆粒水溶剤 2000 倍（前日、3 回）でもよい。

③ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、機能性展着剤のササラの 2000 倍（100 リットルに 50ml）を使用すると薬液が葉裏（毛じ間）によく広がり、薬液の乾きも早くなる効果がある。

④ ハダニ類対策：8 月中旬散布予定のオマイト水和剤 750 倍（3 日前、1 回）を繰り上げて混用してもよい。尚、ナシ類には登録がないので飛散しないように注意する。

⑤ 【重要】シンクイムシ類の二次被害防止のため、被害果は必ず採取して水没処理する。

⑥ **つがる軟化防止対策：液状カルシウム資材「セルキープ」の 1,000 倍を加用**する。（価格：1,450 円/1 リットル規格⇒約 1,000 リットル分）

８月中旬の薬剤散布は次ページに記載しています。

りんご　　8月中旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期：8月15日～20日　＊お盆中～お盆後散布

◆ 散布日：8月　　日

◆ 散布量：　　リットル

散布薬剤：

水	１００リットル	
展着剤	１０ml	
フリントフロアブル２５	５０ml（前日、4回）	
劇 イカズチWDG	６６g（前日、2回）	＊注意事項③参照
オマイト水和剤	１３３g（3日前、1回）	＊注意事項④参照
アリエッティＣ水和剤	**１００g（前日、3回）**	＊注意事項①参照

散　布　量：10アール当り　600リットル

対象病害虫：**輪紋病・炭疽病**・褐斑病・斑点落葉病・すす点･すす斑病・**黒星病**

ハダニ類・シンクイムシ類・ハマキムシ類・キンモンホソガ・ギンモンハモグリガ

～　注意事項　～

① **【重要　黒星病防除強化対策】　秋季感染拡大防止（次年度密度抑制）のため、アリエッティＣ水和剤1000倍（前日、3回）を追加しました。尚、アリエッティＣ水和剤は予約価格で対応します。**

② ハダニ類対策：今回の散布3～4日前までに下草除草を実施する。

③ イカズチWDGは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。

④ **オマイト水和剤はナシ類に登録がないので、飛散しないように注意する。**

⑤ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、機能性展着剤のササラの2000倍（100リットルに50ml）を使用すると薬液が葉裏（毛じ間）によく広がり、薬液の乾きが向上する。（殺虫剤・殺ダニ剤との向上効果期待できる）

⑥ **つがる・中生種果肉軟化防止対策：液状カルシウム資材「セルキープ」の1,000倍を加用する。**（価格：1,450円/1リットル規格⇒1,000リットル分）

⑦ 8月上旬の特別散布を実施した場合は、今回の散布を8/20～25頃を目安に実施する。

⑧ 園地の外周等死角がないように、散布量は多めに設定する。

黒星病対策（号外）もお読みください。